

支援者ネットワーク

会津バスケットボール協会 室井 富仁

バスケットボールのコーチについて論じると、行き着くところリーダーシップ論になる。ほとんど全ての仕事がチームでなされる以上、リーダーシップが必要不可欠である。

若い頃リーダーシップを学ぶために色々な哲学書、歴史書、ビジネス書などをむさぼり読んだことがある。バスケットボールに限定しないであらゆるジャンルのリーダーたちを学んだ。その中でも特に役立ったのは歴史上のリーダーたちのリーダーシップである。

先週の朝日新聞の書評ではライフネット生命保険会長の出口治明氏が「ひもとくリーダー論」で『貞観政要』を推奨していた。私も退職してすぐに再読した。本書は、中国4千年の歴史の中で、平和で安定した盛世はわずかに4度、そのうちの一つ「貞観の治」を現出させた唐の太宗・李世民と臣下の問答をまとめた本である。この中で特に注目されるのが、ひたすら臣下の厳しい進言に愚直に耳を傾けた君主の姿である。「王様は裸である」と直言してくれる部下を持たないとリーダーは務まらないことを教えている。リーダーが持つべき「三つの鏡①銅②歴史③諫言者」などのエピソードが有名。

新聞書評を読んでいた時と同じ頃、『コーチングクリニック2016・12月号』に掲載されたメンタルトレーナーの田中ウルヴェ京(メンタルトレーナー、シンクロナイド銅メダリスト)さんの「周囲との関係性を見直そう」という文がシンクロした。更なる成長のためには、競技の枠にとどまるのではなく、外の世界に目を向けて新たな発想を得る大切さを説き、そのためには自分とは違う分野の人から学ぶ姿勢が大切だという。

自分に思いがけない刺激、忠告を与えてくれる支援者の存在は貴重である。周囲にいる人が自分にどんな影響を及ぼしているかを整理し、何か問題が起こった時に誰に頼ればよいかを自分なりに整理しておくこと。メンタルトレーニングにおいては5つのタイプの支援者が重要だそうである。

①叱咤激励支援者

自分がベストを尽くせるよう、時には厳しく進言してくれる人。恩師のような存在。

②外巻きの支援者

自分を応援して、励まし、元気つけてくれる人。

③永遠の支援者

何が起ころうとも、たとえ自分が犯罪者になっても絶対的な見方としてそばに居続けてくれる人。両親や兄弟のような存在。

④情報提供マン

自分に有益な情報や技術を提供してくれる人。

⑤ライバル

反対の立場にあり、価値観のまったく違う人。この人のおかげで燃えたり、新たな視点に気づいたりする。

コーチの神様ジョン・ウッデンは「成功のピラミッド」の土台に「友情」「忠誠心」「協調性」の人々を招き入れる要素をあげている。偉大なことは一人では成し遂げられない。成功するには多くの人々の協力が必要である。